

雑誌「GIS NEXT」による日本の典型地形の表現と概説

Cartographic visualization and depiction of typical terrain features in Japan using a 10m DEM –from 'GIS Next Magazine'

石川 剛 [1]; 勝部 圭一 [2]; 目代 邦康 [3]

Go Ishikawa[1]; Keiichi Katsube[2]; Kuniyasu Mokudai[3]

[1] (株)東京地図研究社; [2] 北海道地図(株); [3] なし

[1] Tokyo Map Reserch Co.Ltd.; [2] Hokkaido Chizu; [3] PN Foundation

<http://www.nextpb.com/gisnext/>

我々は、季刊雑誌「GIS NEXT」の第21号(2007年10月刊行)より、10mメッシュ標高データ(北海道地図株式会社作成)を使って日本の典型地形を辿るという趣旨の連載「地形紀行」を始めた。

本連載では、地形学的に重要な地域の鳥瞰図を掲載するとともに、現地の写真や地形図、模式断面図などを合わせて概説を行うという体裁を取っている。

鳥瞰図は、10mメッシュ標高データから作成された地上開度図(空の見通しの度合いを表し、尾根地形の分布や密度を表現するのに適した指標)と陰影段彩を重ね合わせ、より詳細な地形が一目で分かるように工夫した。

日本の地形について解説した書物はいくつか刊行されているが、その多くは専門的で平面図(地形図など)を用いている。これに対し、本連載ではビジュアル要素に重きを置きつつ、「地形学」の面白さや、地形データによる地図表現の奥深さ、大地の営みを感じられるように配慮しているので、中学・高校の理科教育・社会科教育の参考資料としても有効と考えている。

ポスターでは、これまでの掲載分を公開するとともに、今後の候補地の提案を予定している。